

津市長

前葉泰幸

津市スポーツ栄誉賞受賞

前川楓さん



# 輝かしい未来へジャンプ!!

平成28年11月7日、津市スポーツ栄誉賞を受賞された前川楓さんをお迎えし、リオ2016パラリンピック競技大会のエピソードや、陸上競技に懸ける思いを前葉泰幸市長が伺いました。

撮影場所/市本庁舎

市長 津市出身の前川楓さんはリオ2016パラリンピック競技大会の陸上競技女子走り幅跳び(T42)で4位入賞、女子100m(T42)で7位入賞という素晴らしい成績を収められました。津市はこの活躍をたたえ津市スポーツ栄誉賞を前川さんにお贈りしました。

最初にパラリンピックの話から伺いたと思います。走り幅跳びの方ですが、1回目がファール、2回目が2m89と、あまり数字が出ていなかった中で3回目はひょっとすると決勝に進めないかもしれないというプレッシャーがあったのではないのでしょうか。どんな気持ちで臨まれましたか。

前川 3本目は絶対に跳んでやる、跳ばないと日本の友達や家族に合わせる顔がないと思って、頑張りました。

市長 強い気持ちが見事にいい跳躍となって3m50が出ましたね。それまでの自己ベストは何mですか。

前川 3m34です。

市長 ここ一発というところで勝負強さを発揮されたんですね。それから4回目にさらにいいジャンプが出ました。

前川 3m68ですね。決勝に残れた安心感で4本目は気持ち良く跳べました。

市長 これは日本新記録であり、アジア新記録でもあるんですね。初出場で4位入賞という成績はいかがですか。

前川 もう少し攻めていこうかと思いましたが、5本目はファール、6本目は数字が出ませんでした。それでも最高に楽しくて、すごくいい経験をさせていただきました。

市長 その走り幅跳びの1週間ほど後の100m(T42)の予選は自己ベストの17秒05でしたね。

前川 予選は決勝と同じ日だったので、全力でいきました。

市長 決勝は17秒39で7位入賞でしたが、予選と決勝の雰囲気は違いましたか。